



2.37 PDA 東京都立西高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年11月5日(火) 15:30-18:00

会場：東京都立西高等学校

参加者：生徒12名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、立教大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、ルール説明、POI (point of information: ディベート中に質疑応答をリクエストするルール) の練習、モデルディベートの視聴を行いました。モデルディベートの視聴では、フローシートにスピーチのメモをとる練習も行いました。

ルール説明が終わると、いよいよ第1ラウンドの始まりです。論題が発表されると、ブレーストシート(アイデア出しシート)にキーワードを書き出す様子が見られました。実際のディベートでも相手の話をよく聞いてレスポンスをする様子が見られました。

第1ラウンドの終わりに、ジャッジから、POIをする重要性や、第1ラウンドの中でどのようなPOIができたかなどについて説明がありました。

続く第2ラウンドでは第1ラウンドで受けたジャッジからのアドバイスを参考に、相手の意見が詳しく理解できなかったときや、より詳細を知りたいとき、矛盾を感じたときなどに積極的にPOIをする様子が見られました。ディベートが終わると、お互いに握手をし、ジャッジから論題に関する解説や、フィードバックが行われました。第1ラウンドも熱戦でしたが、さらに白熱した議論となり、第1ラウンドからとても成長した姿が見られたディベートとなりました。



POI の練習を行いました



積極的に POI をしています

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・少ない時間の中で自分の考えをまとめて発言することの大変さもあったが、上手にまとめられたときは嬉しく、やりがいを感じられた。
- ・英語の能力を伸ばすだけでなく、身のまわりで起こっている、時事問題に目を向けて、知識量を増やしたいと思った。
- ・自分の英語力がもっとあればより上手に話せたのに、と悔しい気持ちがあり、それがまた自分の努力のモチベーションになった。
- ・論理的に伝えるのに、どのように考え、また相手の意見にどう反論すればいいのかを考えることができた。
- ・頭をとにかく使って楽しかったです。ディベートをきちんと行うのは初めてだったので丁寧に指導していただきながらできるのがとてもよかったです。ディベートに興味を湧いたのでこれから取り組んでみたいと思いました。
- ・本当に難しかったです。英語力も思考力・表現力も身につくと思えて、日常的にどんどんやっていきたいと思いました。

